

気軽に読める暮らしのネタ

イノス INOS Monthly マンスリー



News Letter
2020.5 月
Vol.216

春の嵐で汚れがち、サッシやレールを掃除しよう

春先は強風による土ボコリや黄砂で、窓や窓際に汚れがたまりやすくなります。特にレールやサッシの掃除を怠ると、窓を開閉しにくくなったりしてしまうことも。トラブルを防ぐために、こまめにキレイにしましょう！

汚れの種類を見極めて、効率的に取り除こう

窓や窓際にたまる汚れには、大きく分けて3種類あります。まずは「砂ボコリや土ボコリ」、次に「花粉」、最後に「カビ」です。それぞれ効果的な掃除方法が違うので、段階的にキレイにしていきましょう。

■まずは砂ボコリや土ボコリを取り除こう

これらには細かい粒子になった石が混ざっているので、そのまま拭いたりこすったりすると窓や窓枠を傷つけてしまいます。まずは掃除機でキレイに吸い取るか、ほうきで家の外に掃き出しましょう。

■花粉は拭き掃除でキレイに！

花粉は窓や窓枠に細かくこびりついているので、掃除機やほうきではキレイにしきれません。雑巾や軽くぬらしたキッチンペーパーなどで丁寧に拭き取りましょう。まずは水で薄めた中性洗剤に雑巾を浸し、よく拭きます。次に別の雑巾で水拭きします。細かい部分に入り込んだ汚れなどは、台所用スポンジ（傷をつけないタイプ）でこすり落とすか、古い歯ブラシなどでかき出しましょう。

■「カビ」は重曹とクエン酸で退治！

これらの方法でも取り除けないのは、冬場の結露などで発生する「カビ」です。これらは人と環境に優しい「重曹」と「クエン酸」でキレイにしましょう。

1. カビが発生した部分に、同量ずつ混ぜた重曹とクエン酸を振りかける
2. その上に、ペットボトルに入れた水を少量ずつかける
3. 泡が出てきたら、そのまま約30分間置く
4. 水に浸して固絞りした雑巾で拭き取る
5. 乾いた雑巾で残った水気を拭き取る

以上です。この方法でも落ちない場合は、市販のカビ用洗剤を使いましょう。

できれば毎月、大掃除は年に数回の頻度で行おう！

窓やサッシの汚れは、ホコリ、花粉、カビいずれも放置するほど取れにくくなります。なるべくこまめにお掃除して、建材にシミや傷みが残らないようにしましょう。



全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

☎0564-62-7700